

『友だちのこと』

必佐小学校 6年 野沢 結心

私にとって、友だちとは人生を豊かにしてくれる大切な存在です。人は一人では生きていけないと言われますが、その意味を実感できるのが、まさに「友だち」の存在ではないかと思います。楽しいときも、悲しいときも、誰かとその感情を分かれ合えるということは、私たちの心に大きなえいきょうをあたえてくれます。

友だちの大切さを感じるのは、困ったときや悩んでいるときです。学校でうまくいかなかった日や、家で落ち込むことがあったとき、そっと話を聞いてくれる友だちの存在にたくさん救われてきました。相手は特別なアドバイスをくれるわけではなく、ただ一緒にいてくれるだけなのですが、それだけで心が軽くなるのです。こうした経験から、私は、「話を聞いてもらえるだけでも人は救われる。」ということを学びました。

また、友だちとは楽しい時間を一緒に過ごせる相手でもあります。遊んだり、おもしろい話で笑ったりすることは、一日を過ごす中で大切な時間です。特に、心から信頼できる友だちがいると、自分自身に自信が持てるようになります。時には意見がちがったり、けんかになったりすることもあり、そんなときは、イライラしたり、悲しくなったりすることもありました。でも、お互いの気持ちを話し合い、仲直りできたときの喜びは、前よりもっと仲良くなれるような気がします。相手の立場になって考え、相手の気持ちを思いやり、相手の意見に耳をかたむけることで、お互いにとってよい関係を保つことができます。

私は、大人になってからも、今の友だちとの関係を大切にしていきたいです。そして、新しい出会いの中でも、相手のことを思いやる気持ちを忘れずにいきたいです。私にとって友だちという存在は、人生においてかけがえのないものだと思います。友だちがいることで、笑顔になったり、勇気をもらったりします。だから、私は友だちを大切に、感謝しながら過ごしていきたいです。そして、自分も誰にとっても「いてくれてよかった。」と、思われる存在になりたいと思います。